

「均等推進企業部門」「ファミリー・フレンドリー企業部門」
東京労働局長優良賞ダブル受賞

東京海上日動火災保険株式会社 に
インタビューに行ってきました！

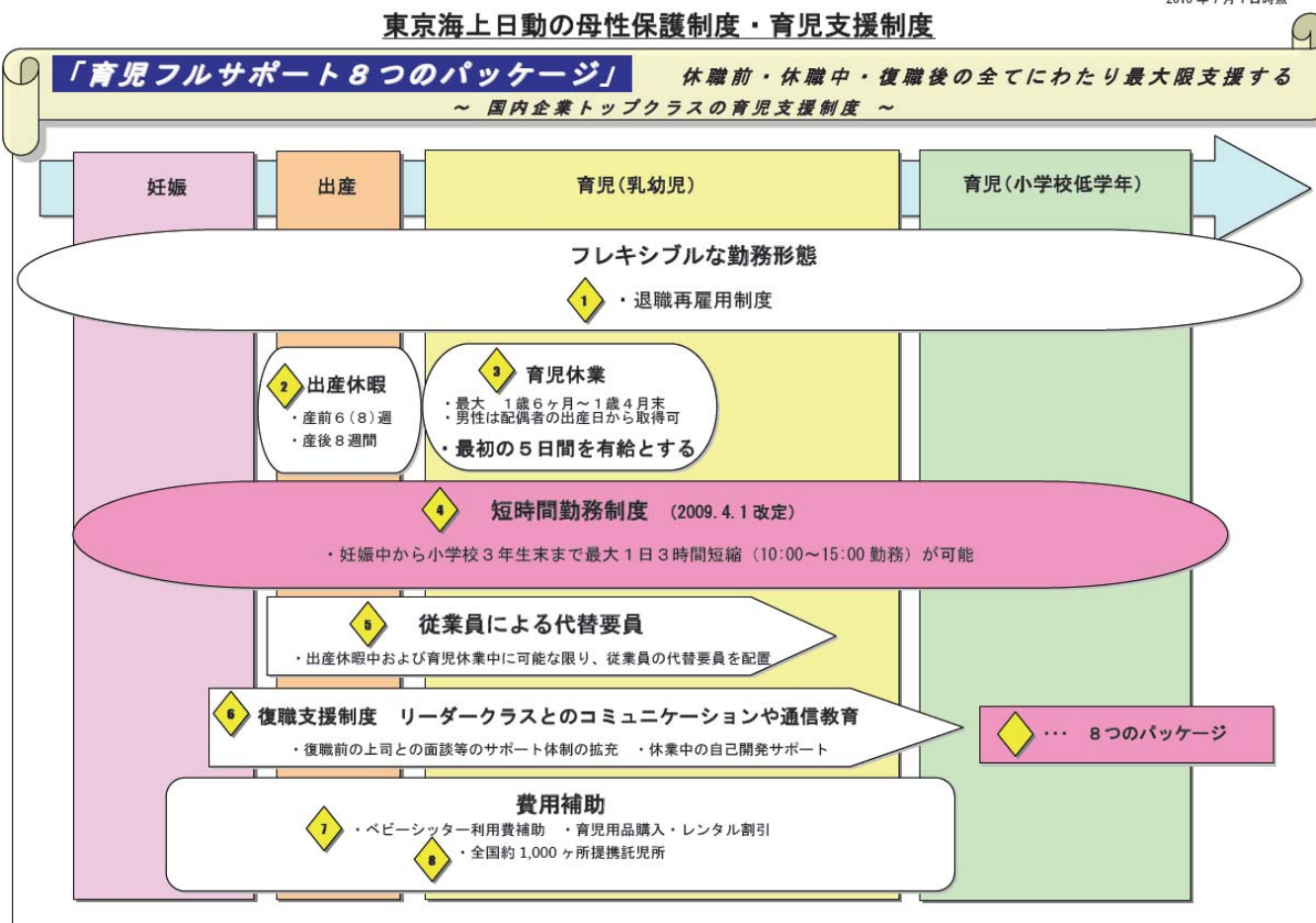
東京海上日動火災保険株式会社は、平成 22 年度、「均等推進企業部門」と「ファミリーフレンドリー企業部門」の労働局長優良賞ダブル受賞企業です。両部門の取組の相乗効果などについて聞きたいと考え、インタビューに行ってきました。

「女性の活躍推進」と「仕事と家庭の両立支援」の相乗効果により目指すところは、「社員が性別に関わらず、それぞれの強み・特性・経験等を活かしながら明るく活き活きと活躍できるような環境作り、制度作り」（トップメッセージより）。「育児フルサポート8つのパッケージ」により出産後も安心して働き続け、フォーラムや研修に後押しされキャリアアップ。さすがダブル受賞企業！と感じました。

担当の方は、「枠組みを作っているだけでなく、制度が活きているという実感がある」との時短勤務利用者の声が嬉しかったと、にっこり。各部門から結集したプロジェクトチーム（次ページ写真）による横断的な取組ならではの成果の1つでしょうか。

2010年7月1日時点

東京海上日動の母性保護制度・育児支援制度



■ トップからのメッセージ（取締役社長 隅修三氏）

この度は、このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に感じております。当社では、社員が性別に関わらず、それぞれの強み・特性・経験等を活かしながら明るく生き活きと活躍できるような環境作り、制度作りに積極的に取り組んで参りました。特に、当社社員の約半数は女性であり、女性がより広いフィールドで特性や強みを活かしながら活躍することが会社の成長につながると確信しております。今回の受賞は、会社にとっても、当社社員にとっても、非常に元気の出る喜ばしいものであると感じております。今後も引き続き、性別を問わず全社員が生き活きとやりがいを持って働ける環境を作るべく、様々な取り組みを行って参ります。

■ ご担当者の声

当社は「女性の活躍推進」を経営の重要課題として掲げ、様々な取り組みを行っております。2006年度からは全国から約250名の社員を集め、「WOMEN & MEN'S FORUM」を開催し、社外講師による講演・グループディスカッション、経営陣によるメッセージ発信等を行い、参加者のモチベーションアップはもちろん、各職場に戻った後の草の根運動のきっかけともなり、大変好評いただいております。また、多様なライフスタイルに応じた働き方の選択肢を拡大するため、「育児フルサポート8つのパッケージ」と称した母性保護・育児支援制度を導入しており、多くの社員が利用しています。今後もより働きやすい職場環境の実現に向け、積極的に取り組んで参ります。



女性の活躍推進PTメンバー（2009年度時点）

■ 周囲の理解・サポートを得ながら仕事と育児の両立に奮闘中の女性労働者 A さん

私は出産休暇・育児休業制度を利用させていただきましたが、子どもとの貴重な時間を過ごすことができ、とても良かったと思います。また、現在は短時間勤務制度を利用しています。バタバタと忙しい毎日ですが、時間が限られている分かって仕事にも集中でき、子供の保育園の送迎、子供との時間もある程度確保でき、とても助かっています。これも職場の方々の理解と協力がなければ成り立ちませんから、とても感謝しています。今後も子供との時間を大切にしながら、仕事と育児を両立していきたいと思っています。

■ 育児休業を取得した男性労働者 B さん（支店長代理）

私は、妻が次男を出産した5日後から1週間の育児休業を取得しました。出産直前まで妻に家事を任せっぱなしの私だったのですが、「この機会に少しは日頃の奥さんの苦勞も分かれ！」と職場の暖かい理解がきっかけです。育児休業の1週間は想像以上に苦勞の連続でしたが、家族との新しい絆を実感した大変貴重な経験となり、妻からも「以降の育児への関わりが格段に進歩した」と褒められました。今では、周囲に必ず育児休業を取得することを勧めています。